

令和6（2024）年度  
事業計画書 収支予算書

西宮商工会議所

# 令和 6(2024)年度 事業計画書

## 目 次

I. 基本的な考え方	
1. 社会経済情勢	2 頁
2. 本商工会議所の状況	3 頁
3. 令和 6(2024)年度の取り組み	4 頁
(1)企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～	
(2)地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～	
(3)組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～	
(4)特定課題への対応	
II. 主要施策、事業の概要	
1. 企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～	7 頁
(1)中小・小規模事業者の支援	
(2)にしのみや起業家支援センター(みやスタ)を核とした起業・創業の支援	
(3)人手不足への対策・人材育成の支援	
(4)販路開拓の支援	
(5)デジタル化・DX の推進	
2. 地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～	9 頁
(1)地域資源のブランド化	
(2)商店街・まちなか活性化の推進	
(3)にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援	
(4)産官学連携の推進	
(5)持続可能な社会の実現	
3. 組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～	10 頁
(1)新規会員の獲得と定着	
(2)組織財政基盤の強化	
(3)会議所のデジタル化・DX 推進と情報発信の強化	
(4)要望・提言活動の推進	
(5)関連団体事務の受託	
4. 特定課題への対応	12 頁
(1)SDGs 推進特別委員会による取り組み強化	
(2)デジタル化・DX 推進特別委員会による取り組み強化	
(3)西宮市市制施行 100 周年記念事業への参画	
(4)西宮市が目指すゼロカーボンシティまちづくりへの協力	
(5)2025 年大阪・関西万博の機運醸成	
(6)令和 6 年能登半島地震への対応	

# I. 基本的な考え方

## 1. 社会経済情勢

令和6年は、能登半島地震や羽田空港での航空機事故などが相次いで発生し、波乱の幕開けとなった。全国会議所では、能登半島地震の被災地および被災地商工会議所の復旧・復興に向け、義援金に加えワンストップ相談窓口となる能登事業者支援センターへ各地の経営指導員等が応援出張を行うなど、力強くかつ継続的な支援を講じていく。

さて、わが国の経済は、コロナ禍の3年余りを乗り越え改善しつつあり、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えたとみられている。

1月には新NISA(少額投資非課税制度)が始まり、東京証券取引所では、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」が毎月公開されるなど、政府が進める「貯蓄から投資へ」の動きが加速すると指摘されている。3月には日経平均株価が4万円を突破し史上最高値を更新した。また、全国的にインバウンド需要が順調に回復しており、7年4月に開幕する2025大阪・関西万博による経済効果が広く地域へ波及することが期待されている。

一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクが指摘されている。また6年は世界的な選挙イヤーとなる。1月に行われた台湾総統選を皮切りに、国際政治に多大な影響を及ぼす米国とロシアに加え、インドネシア、インド、メキシコなどの地域大国、隣国の韓国でも国政選挙が予定されている。

このような中、中小企業・小規模事業者(以下、「中小企業等」という。)にとって、人手不足がかつてないほど深刻な状況を迎えている。会議所調査(5年5月議員アンケート実施)、及び日商調査(6年1月実施)では、それぞれ約7割の中小企業等が「人手不足」と回答しており、特定の業種にとどまらず、あらゆる業種で深刻であり、今後一層厳しくなることが避けられない状況にある。

さらに、4月より建設業や運輸業などで時間外労働の上限規制が導入される。いわゆる「2024問題」を巡っては、大手企業を中心に従業員の確保が急ピッチで進めているが、中小企業等は賃金などの労働条件で見劣りする場合が多く、人材獲得をする力の差が大手企業と比べて顕著に現れる可能性がある。加えて団塊世代が後期高齢者となり、社会保障費の負担増や働き手不足が加速化する「2025問題」が続く。

こうした人手不足や人材育成・組織開発を最重点課題として捉え、賃上げの原資確保に向けた取引価格適正化とともに、中小企業等がデジタル化・DX推進や人材育成・組織開発に果敢に取り組み、人手不足に打ち克つ環境をつくりだすことが不可欠である。

6年度は、わが国の経済活動を停滞から回復へ向け引っ張っていく非常に重要な1年となる。会議所は地域・事業者・人の挑戦を全力で後押しし、持続的な成長と地域経済の好循環に向けて取り組みを進める。

## 2. 本商工会議所の状況

5年度は、コロナ禍に伴い縮小・中断していた主要イベントを再開するとともに、コロナ後の新たな取り組みにチャレンジした1年であった。

4月に「デジタル化・DX推進特別委員会」及び「SDGs推進特別委員会」を設置し、会議所が率先垂範し会議等でのペーパーレス化推進やひょうご産業SDGs推進宣言事業への登録に取り組むとともに、中小企業等の効果的な支援手法について検討を行った。また9月に洋菓子園遊会を、10月に酒ぐらルネサンスと食フェアが本格稼働し待ちわびた多くの日本酒や洋菓子等のファンが来場しまちの賑わいづくりにつなげた。11月にはコロナ関連の支援をきっかけに会議所に入会した多くの事業者を対象に新入会員交流会を実施し、会議所と会員事業所の信頼関係づくりを図った。

新たに起業家をワンストップで支援する拠点として整備した「にしのみや起業家支援センター(以下、「みやスタ」という。)」は着実に成果をあげ、4月に兵庫県齋藤知事と起業家との意見交換会を実施したほか、年間100名を超える起業家が誕生した。地域の経済活動の拠点として整備した「にしのみや地域経済交流センター(以下、「地域経済交流センター」という)」は、キッチンカー出店や地元クリエイターの展示商談会などを実施し、商工会館の賑わい創出に向けた取り組みを進めている。

会議所にあっては、6年度からスタートさせる「第3次中期行動計画(2024~2028年)~地域・事業者・ひとの挑戦を後押しし、西宮の未来につなげる~」を踏まえ、3つの基本方針である企業力・地域力・組織力の強化を軸にそれぞれ取り組みを進める。

企業力の強化については、デジタル化・DX推進やロボット導入による生産性向上、材料費や労務費などの価格適正化のため「パートナーシップ構築宣言」の推進、デジタル人材の育成など、喫緊の経営課題である「人手不足」の克服に向けた取り組みを重点的に進める。このほか、新たに地域DXの先導役を育てるDX経営塾や発展的承継に向けた後継者育成塾を実施する。

地域力の強化については、5年度に再開した主要イベントを実行委員会メンバーの協力体制を強化しながら効果的・効率的なイベント運営を目指す。またSDGsへの対応が遅れる中小企業等を対象に「ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業」の普及促進に数値目標をもって取り組む。

組織力の強化については、会議所の基礎的活動である「会員事業所の巡回訪問による信頼関係づくり」を徹底するとともに、デジタル化・DX推進により顧客(会員)起点の新しいサービス導入を目指す。このため、会議所自身のデジタル化・DXを加速化させ、新しい働き方に対応できる職員の育成に努める。

大きく変化する社会経済環境に対応するため、挑戦する地域・事業者・人の課題に真摯に向き合い、持続的な会議運営に向け組織財政基盤を強化しながら「地域・事業者・ひとの挑戦を後押しし、西宮の未来につなげる」会議所を目指す。

### 3. 令和 6(2024)年度の取り組み

6 年度は、第 29 期(4 年 11 月～7 年 10 月)の中間地点であり、「第 3 次中期行動計画(2024～2028 年)～地域・事業者・ひとを支え、未来につなげる～」のスタートの年でもある。

会議所 70 周年以降受け継いできた「輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり」の実現に向け、3 つの基本方針である企業力・地域力・組織力の強化について、4 つの常設委員会(総務企画、企業力強化、地域力強化、組織力強化)、2 つの特別委員会(SDGs 推進、デジタル化・DX 推進)と連動しながら会議所事業を推進する。

特に、人手不足や人材育成・組織開発を最重点課題と捉え、デジタル化・DX 推進や省力化、人材育成・組織開発による生産性向上、価格適正化と労務費確保等の両立への取り組みを強力に進めるため、17 の新規事業、6 の拡充事業に取り組む。

また近年、地域の雇用や経済を支えていた中堅企業の市外流出が相次いでおり、地域経済の弱体化が危惧される。新たな投資を呼び込むとともに、事業者が定着するまちづくりを進めるため、オール西宮で企業立地・定着を推進する。

#### (1)企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～

深刻化する人手不足や価格高騰の影響など、中小企業等が抱える喫緊の経営課題を真摯に受け止め、伴走型による経営支援、起業家の発掘・育成、人手不足への対応・人材育成、販路開拓、デジタル化・DX 推進について重点的に取り組む。

中小企業等の支援については、基礎的な経営支援に加え、経営発達支援計画に基づく伴走支援に中小企業相談所が一丸となり取り組む。特にコロナ禍以降の経営課題に対応するため、国は「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」といった予算規模の大きい補助金を創設した。このような国・県・市等の各種支援施策の活用を推進するため、所報やホームページ、SNS によるタイムリーな情報提供に加え、各種制度の集合説明会や個別申請支援を実施し中小企業等が各種制度を確実に利用できるようきめ細かな支援に努める。

6 年度は、2 期目経営発達支援計画及び事業継続力強化支援計画の最終年度となる。このため各計画の評価を行い、会議所の中期行動計画と連動する形でそれぞれの計画を西宮市と共同策定し、小規模事業者の支援につなげる。

また、大企業と中小企業が共に成長できる持続可能な関係を構築する「パートナーシップ構築宣言」は、約 4 万者が登録するなど急速に浸透しており、価格転嫁・取引適正化の機運が高まっている。会議所も同宣言を積極的に情報発信し、中小企業等の持続可能な成長を後押しする。さらに、緊急時に事業の継続・早期復旧を図る BCP(事業継続計画)策定や後継者問題を抱える中小企業等の円滑な事業引き継ぎや事業承継を促進する後継者育成塾の実施に取り組む。

みやスタを核とした起業・創業の支援については、みやスタ運営計画に基づき、市や関係機関、

包括連携協定を締結している大手前大学と武庫川女子大学と連携しながら着実に取り組みを進める。みやスタでは、5年度に100名を超える起業家の輩出に成功したほか、起業家交流会やみやスタビジネスプランコンテストには多くの期待が寄せられている。この実績や評価を維持するため、みやスタの運営体制を充実するとともに、支援メニューの拡大を図る。

最重点課題である人手不足への対策、人材育成・組織開発の支援については、新入社員研修をはじめ職務別や階層別、課題別の人材育成研修を計画的に実施し、7年度以降の事業定着を図る。また、講師派遣型のオーダーメイド研修の充実により中小企業等の生産性向上を人材育成面から支援するとともに、人事制度改善セミナーなど中小企業等の組織開発をテーマとした取り組みを数多く実施する。

販路開拓の支援については、市内製造業を中心に中小企業等が開発した新製品・新技術等の全国展開を支援するため大規模展示会への共同出展を行い、市内産業を広くPRすることで数多くのビジネスマッチングや業務提携の成立を目指す。また6年度、阪神間4商工会議所連携事業に会議所が主幹として取り組み、DX推進・AI活用をテーマとした基調講演に加え、人脈拡大・ビジネス発掘のため300名規模の会員交流会を実施する。

デジタル化・DXの推進については、新たに「デジタル人材育成補助制度」を活用した中小企業等のリスクリング支援や塾形式でDXを学ぶ「DX経営塾」、ITベンダーと連携した「デジタル化・IT体験会」を実施し、中小企業等の支援に取り組む。

## (2) 地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～

西宮が誇る豊富な地域資源(自然環境、風土、歴史、文化等)を産業活動に活用するとともに、酒造業をはじめ、多くの飲食料品関連産業が集積する「食のまち」としての特色を活かし、日本酒をはじめ食分野における観光資源を「西宮ブランド」として育成・発信するなど地域産業の活性化を継続して支援する。

地域資源のブランド化については、5年度は日本酒振興の主要イベントである「西宮酒ぐらルネサンスと食フェア」が4年ぶりにコロナ禍以前の規模で実施され、盛況を博した。6年度についても実行委員会で知恵を出し合い、出展者及び来場者双方が満足できるイベント実施を目指す。また、「とおかし」や「西宮洋菓子園遊会」イベントにより、地域に根差す和菓子・洋菓子事業者を継続支援する。

商店街・まちなかの推進については、事務受託している西宮市商店市場連盟との連携を深め、時代に即した事業実施や各商店街の魅力発信を行う。

にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援については、中長期的な視点に基づいた同センター活用計画を策定する。このことにより、マルシェや展示会等の実施による地域ブランド商品の販路開拓支援に加え、キッチンカーによる商工会館の賑わいづくりや、地域の文

化芸術団体や子育て団体・グループ等の意見を踏まえた取り組みを計画的に行い、「地域とともにある」会議所の実現を目指す。

産官学連携の推進については、市や市内大学等と連携しながら返礼品の掘り起こしと磨き上げに取り組み、西宮ブランド商品の魅力を全国に発信する。

持続可能な社会の実現については、SDGs 関連セミナーの実施や所報での SDGs 取り組み事例紹介などにより SDGs に取り組むメリットを伝え、ひょうご産業 SDGs 推進宣言への企業登録について、6・7年度の2年間で会員総数の10%という数値目標を設定し取り組む。

### (3)組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～

会議所は地域で唯一の総合経済団体として多くの事業者からの信頼を得られる存在でなければならぬ。そのためには経営指導員等による会員事業所への巡回訪問を年1回以上実施し、会議所と会員事業所の間で顔の見える関係を築くことが不可欠である。また、会員の経営課題やニーズの的確に把握するとともに、幅広い会員サービスを積極的にアピールすることにより、新規会員の獲得、会員の定着、退会の防止、未収会費の縮減を図る。

このことを組織一丸となり推進するため、組織力強化委員会の提案を基に効果的な取り組みを検討し、会員総数の純増、会員満足度の向上を目指す。5年度に実施した「新規会員交流会」を充実させるとともに、SNS等を活用し会員との接点を増やすなど、コロナ禍以降に加入した新規会員へのフォローや退会防止に注力する。

またデジタル化・DX推進特別委員会の提案を踏まえ、会議所自身のデジタル化・DX推進を加速化させ、変化に対応できる会議所運営を目指す。5年度は会議所が主催する各種会議の案内・出欠のデジタル化や配布資料のペーパーレス化に取り組んだが、6年度は、商工会館貸会議室の予約等管理システム及びキャッシュレス決済を導入するなど、顧客起点(会員起点)の新しいサービス創出に積極的に取り組む。

会議所の基礎的な活動である部会、委員会においては、各部会・委員会の連携を強化し、有益なセミナーや先進事例を有する施設見学会の実施、会議所役員や会員間との意見交換や交流の場を提供するなど、会員にとってメリットが感じられる取り組みを行う。議員クラブについては役員・議員が交流を深める有効な機会であることから積極的な参加を促す。また青年部・女性会との一層の相互連携を図るため、会議所事業への参画や協力を求める。

要望・提言活動の推進については、国・県・市政に事業者の声を届け要望の実現に向け取り組むため、アンケート調査を実施し市内事業者の現状を把握する。

このほか、組織財政基盤の一層の安定、強化を図るため、会議所共済の加入促進や商工会館貸会議室の活用推進、70周年を迎える簿記検定の実施手法見直しなど自主財源の拡大に加え、会議所運営に係る諸経費削減の徹底や会員サービスの利便性向上に努める。また商工会館貸会議室の

利用料改定などにより、安定的な事業実施に向けて新たな財源の確保について検討を進める。

#### (4) 特定課題への対応

会議所では、中小企業等や地域の SDGs 及びデジタル化・DX を推進するため、令和 5 年度に SDGs 推進特別委員会及びデジタル化・DX 推進特別委員会をそれぞれ設置し、会議所が率先垂範しひょうご産業 SDGs 推進宣言事業への登録や会議等でのペーパーレス化の推進に取り組んだ。6 年度は、新設した「西宮市デジタル人材育成補助制度」を活用した中小企業等のリスキリング支援や、ひょうご産業 SDGs 推進宣言企業の発掘など中小企業等への支援に軸足を移す。

西宮市にあっては 7 年 4 月に市制施行 100 周年の節目を迎えるが、6 年度を同記念事業のプレ事業期間として位置付け機運醸成を図るとしている。会議所では地域唯一の総合経済団体として、地域活性化や産業振興につながるよう西宮ならではの取り組みを企画するなど同記念事業に協力、参画する。また市では、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指す「2050 ゼロカーボンシティ」を推進しており、6 年度以降、国の交付金を活用しながら住宅の脱炭素化に向けた取り組みを進める。会議所では市からの要請を受け、市内工務店等の環境施工能力向上に協力する。

さらに、地域経済に与えるインパクトが大きい 2025 年大阪・関西万博だが、この経済効果を西宮に呼び込むため、関西商工会議所連合会等と連携した機運醸成に取り組む。

加えて、令和 6 年能登半島地震への対応について、阪神・淡路大震災の際に日本商工会議所をはじめ全国会議所から支援を受けた経緯を踏まえ、義援金の使途が明確な日本商工会議所が募集主体となる取り組みに協力する。

## II. 主要施策、事業の概要

注記 〈新〉：新規事業、〈拡〉：拡充事業

### 1. 企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～

#### (1) 中小・小規模事業者の支援

##### ① 深刻化する人手不足や物価上昇の影響を受ける事業者への支援

- ・ 「パートナーシップ構築宣言」の普及推進
- ・ 生産性向上や優秀な人材確保のための働き方改革支援
- ・ アンケート調査等による事業者の要望集約と、国・県・市等への要望・提言活動の実施
- ・ 国・県・市等の支援施策の情報発信や活用推進、各種補助金等の個別相談会の実施

##### ② 経営改善普及事業による小規模事業者の活力強化

- ・ 巡回訪問等による経営指導や情報提供の徹底、オンライン経営相談の実施
- ・ 様々な経営課題を解決するための専門家派遣、個別相談会の実施

- ・ 北部地域における出張経営相談室の継続実施
- ・ マル経融資(小規模事業者経営改善資金)及び各種制度融資の利用促進
- ③ 小規模事業者支援法に基づく経営発達支援計画(2 期目)の推進
  - ・ 〈新〉西宮市との経営発達支援計画(3 期目)の共同策定
  - ・ 地域経済や需要動向の調査、小規模事業者の事業計画策定や実施支援、新たな需要の開拓支援
  - ・ 経営発達支援計画評価委員会による本計画の検証・評価
- ④ 小規模事業者支援法に基づく事業継続力強化支援計画(1 期目)の推進
  - ・ 〈新〉西宮市との事業継続力強化支援計画(2 期目)の共同策定
  - ・ 事業継続計画等(事業者 BCP)の策定支援
- ⑤ 中小・小規模事業者が抱える経営課題への対応
  - ・ 日本政策金融公庫や地域金融機関との連携強化による金融支援
  - ・ 小規模事業者持続化補助金等、国・県・市等各種補助金の活用支援
  - ・ 経営革新等認定支援機関としての支援(事業再構築補助金等申請、経営改善計画策定、資金調達、税制優遇制度の利用)
  - ・ 中小企業等経営強化法に基づく経営力向上計画や経営革新計画の策定支援
  - ・ インボイス制度・電子帳簿保存法への対応支援
  - ・ 健康経営優良法人認定の取得支援
- ⑥ 企業立地・定着の推進
- ⑦ 事業承継・引き継ぎ支援
  - ・ 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター・西宮サテライト相談窓口の設置
  - ・ 〈新〉後継者育成塾の実施

## (2)にしのみや起業家支援センター(みやスタ)を核とした起業・創業の支援

- ① にしのみや起業家支援センター(みやスタ)の運営
  - ・ 起業フォーラム・起業塾等、起業家の「学び」を支援
  - ・ 起業家交流会・ビジネスプランコンテスト等、起業家の「集い」を支援
  - ・ コワーキングスペースや情報発信ルーム等、起業家の「交流」を支援
- ② にしのみや起業家支援センター(みやスタ)運営評価委員会による評価
- ③ 〈新〉女性起業家等 PR イベントの実施

## (3)人手不足への対策、人材育成・組織開発の支援

- ① 〈新〉「西宮市デジタル人材育成補助制度」を活用した中小企業等のリスキリング支援
- ② 人手不足への対策

- ・ 〈新〉後継者育成塾の実施(再掲)
  - ・ 職場改善のためのオーダーメイド型(講師派遣型)研修の実施
  - ・ 西宮市大学交流センターや市内大学キャリアセンターにおける市内企業 PR コーナーの設置
  - ・ 合同就職説明会(西宮市・ハローワーク西宮との共催)など人材確保の支援
- ③ 西宮地区雇用対策協議会と連携した人材育成・組織開発の支援
- ・ 兵商連・労働環境対策事業「サステナビリティ経営支援事業」の実施
  - ・ 新入社員研修、新入社員フォローアップ研修の実施
  - ・ 人材育成研修(階層別、職種別、課題別)の計画的な実施
  - ・ 事業者向け人材育成・組織開発セミナーの実施
- ④ 兵庫働き方改革推進支援センターとの連携
- ・ 定例労務個別相談会の実施

#### (4) 販路開拓の支援

- ① 兵商連・地域活力増進事業「大規模展示会への共同出展」の実施
- ② 〈新〉兵商連・地域経済再生支援事業「地域の逸品等の磨き上げと販路開拓支援事業」の実施
- ③ 〈新〉阪神間4商工会議所連携事業(主幹：西宮商工会議所)の実施
- ④ 事業者間のマッチング支援
- ・ ザ・ビジネスモールの活用推進

#### (5) デジタル化・DXの推進

- ① 〈新〉「西宮市デジタル人材育成補助制度」を活用した中小企業等のリスクリング支援(再掲)
- ② 〈新〉ITベンダーと連携した「デジタル化・IT体験会」の実施
- ③ 〈新〉塾形式でDXを学ぶ「DXワークショップ」の実施
- ④ 〈新〉所報を活用したデジタル化・DXに取り組む事業所のPR

## 2. 地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～

### (1) 地域資源のブランド化

- ① 日本酒の振興
- ・ 第28回西宮酒ぐらルネサンスと食フェアの実施
  - ・ 西宮日本酒学校修了式の実施
  - ・ 西宮蔵開の支援
- ② 西宮洋菓子ブランド発信事業による西宮洋菓子園遊会イベントの実施
- ③ 西宮和菓子ブランド発信事業による「とおかし」の支援

- ④ にしのみやコーヒーの扉プロジェクトによるコーヒー文化の浸透支援
- ⑤ 西宮市・西宮観光協会と連携強化

## (2) 商店街・まちなか活性化の推進

- ① 西宮市商店市場連盟による各商店街等への支援
- ② 兵庫県・西宮市の商店街新規出店・開業等支援事業補助金の活用支援

## (3) にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援

- ① 〈新〉にしのみや地域経済交流センター活用計画の策定、計画に基づく事業実施
- ② 地域の文化芸術団体や子育て団体・グループ等の活動支援
- ③ 西宮商工会館ピロティを活用したキッチンカー等による販路開拓支援

## (4) 産官学連携の推進

- ① 〈新〉「西宮市デジタル人材育成補助制度」を活用した中小企業等のリスキリング支援(再掲)
- ② 〈新〉会議所と関西学院大学ロースクール(司法研究科)による「企業法務人材の育成」を目的とした連携協定の締結

## (5) 持続可能な社会の実現

- ① 〈拡〉ひょうご産業 SDGs 推進宣言事業・認証事業の推進
  - ・ 6・7年度の2年間で会員総数の10%の企業登録に取り組む
- ② 所報を活用したSDGs(持続可能な開発目標)に取り組む事業所のPR

---

## 3. 組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～

---

### (1) 新規会員の獲得と定着

- ① 〈拡〉組織一丸となった会員増強の推進
  - ・ 新規会員の獲得と会員の定着、退会防止に係る方策の検討
  - ・ 年間30件の会員総数増加を目指す
- ② 〈拡〉全会員への巡回訪問による会員満足度の向上
  - ・ デジタルを活用した接触機会の多様化
- ③ 新規会員交流会の実施

### (2) 組織財政基盤の強化

- ① 正副会頭会議、議員総会、常議員会、議員懇談会、議員クラブ活動等の実施

- ② 部会活動の活性化
- ③ 委員会活動の活性化
- ④ 青年部活動の支援
- ⑤ 女性会活動の支援
- ⑥ 賀詞交歓会の実施
- ⑦ 〈拡〉 会議所共済制度の推進による会員事業所の福利厚生の実施、財源の確保
  - ・ 会議所共済(くすのき共済及び特定退職金共済)、県共済、自動車共済
  - ・ アクサ生命との連携強化、BWC キャンペーンの推進
  - ・ 中小機構共済(小規模企業共済及び経営セーフティ共済)
- ⑧ 〈拡〉 簿記 70 周年を機とした商工会議所検定(日本商工会議所、東京商工会議所)の普及・推進、ネット検定への対応
- ⑨ 「市民に拓かれた商工会議所」の推進
  - ・ 第 32 回くすの木コンサート
  - ・ 社会貢献活動、国際交流活動の推進
- ⑩ 会議所パソコン教室の運営
- ⑪ 会員サービス事業の推進
  - ・ 労働保険事務の代行
  - ・ 貿易関連証明の発給(オンライン発給の検討)
  - ・ 健康診断、PET/CT 検診の受診料割引サービス、ひょうご DC プラン、電子証明割引サービス
- ⑫ 〈新〉 変化に対応できる会議所職員の育成

### **(3) 会議所のデジタル化・DX 推進と情報発信の強化**

- ① 〈拡〉 会議所のデジタル化・DX 推進
  - ・ 商工会館貸会議室の予約等管理システムの導入
  - ・ キャッシュレス決済の導入
- ② 会議所活動の情報発信
  - ・ 所報「れぼると」の内容充実
  - ・ 会議所ホームページ、各種 SNS 等を活用した情報発信の強化

### **(4) 要望・提言活動の推進**

- ① 各部会・委員会活動、巡回等を通じての会員意見の集約
- ② 国・兵庫県・西宮市等への政策要望・意見の具申
- ③ 兵庫県・西宮市幹部と正副会頭との懇談会の実施
- ④ 日本商工会議所・関西商工会議所連合会・兵庫県商工会議所連合会等、関係機関との連携

#### (5) 関連団体事務の受託

- ① 西宮貿易協会
- ② 西宮地区雇用対策協議会
- ③ 西宮珠算振興会
- ④ 西宮興親会
- ⑤ 西宮市商店市場連盟
- ⑥ 西宮市商業近代化協会
- ⑦ 一般財団法人西宮更生保護協会
- ⑧ 日本容器包装リサイクル協会

---

#### 4. 特定課題への対応

---

- (1) SDGs 推進特別委員会による取り組み強化
- (2) デジタル化・DX 推進特別委員会による取り組み強化
- (3) 〈新〉西宮市市制施行 100 周年記念事業への参画
- (4) 〈新〉西宮市が目指すゼロカーボンシティまちづくりへの協力
- (5) 〈新〉2025 年大阪・関西万博の機運醸成
  - ・ 関西商工会議所連合会と連携した 2025 年大阪・関西万博の機運醸成
  - ・ 前売入場チケットの販売促進
- (6) 〈新〉令和 6 年能登半島地震への対応

以上

## 令和6年度 収支予算書

### 目 次

1. 令和6年度収支予算総括表	14頁
2. 令和6年度一般会計収支予算	16頁
3. 令和6年度中小企業相談所特別会計収支予算	19頁
4. 令和6年度会館・共済事業特別会計収支予算	21頁
5. 令和6年度特定退職金共済事業特別会計収支予算	23頁
6. 令和6年度退職給与資金積立金特別会計収支予算	24頁

## 西宮商工会議所 令和6年度 収支予算総括表

(単位：千円)

	合 計				
	R6年度 予算額 A	R5年度 予算額 B	差引額 A-B	R5年度 決算見込 C	差引額 A-C
〈収入の部〉					
会費収入	68,000	68,000	0	67,610	390
特定商工業者負担金収入	1,220	1,200	20	1,220	0
一般事業収入	76,920	73,330	3,590	72,950	3,970
会館事業収入	29,820	32,743	△2,923	32,054	△2,234
共済事業収入	177,910	184,361	△6,451	183,995	△6,085
交付金収入	132,610	141,442	△8,832	141,955	△9,345
雑収入	2,990	3,403	△413	3,281	△289
繰入金（一般会計）	20,100	14,674	5,426	13,767	6,333
繰入金（中小企業相談所特別会計）	3,310	3,310	0	3,310	0
繰入金（会館・共済事業特別会計）	0	0	0	0	0
繰入金（特定退職金共済事業特別会計）	0	0	0	0	0
過年度収入	790	510	280	556	234
前期繰越金	94,264	130,644	△36,380	130,644	△36,380
収入の部合計	607,934	653,617	△45,683	651,342	△43,406
〈支出の部〉					
事業費	270,690	274,799	△4,109	273,340	△2,650
人件費	134,140	140,478	△6,338	142,682	△8,542
その他管理費	48,110	46,005	2,105	46,388	1,722
固定資産取得費	400	900	△500	1,142	△742
退職金	3,100	51,207	△48,107	51,207	△48,107
基金積立金	17,000	17,000	0	17,000	0
繰出金（一般会計）	0	0	0	0	0
繰出金（中小企業相談所特別会計）	17,100	11,674	5,426	10,767	6,333
繰出金（会館・共済事業特別会計）	0	0	0	0	0
繰出金（退職給与資金積立金特別会計）	6,310	6,310	0	6,310	0
借入金等返済支出	8,190	8,226	△36	8,242	△52
支出の部合計	505,040	556,599	△51,559	557,078	△52,038
収支差額（予備費等）	102,894	97,018	5,876	94,264	8,632
支出の部合計	607,934	653,617	△45,683	651,342	△43,406

左					の					内					訳									
一般会計					中小企業相談所特別会計					会館・共済事業特別会計					特定退職金共済事業特別会計					退職給与資金積立金特別会計				
6年度 予算額 A	5年度 予算額 B	差引額 A-B	決算見込 C	差引額 A-C	6年度 予算額 A	5年度 予算額 B	差引額 A-B	決算見込 C	差引額 A-C	6年度 予算額 A	5年度 予算額 B	差引額 A-B	決算見込 C	差引額 A-C	6年度 予算額 A	5年度 予算額 B	差引額 A-B	決算見込 C	差引額 A-C	6年度 予算額 A	5年度 予算額 B	差引額 A-B	決算見込 C	差引額 A-C
68,000	68,000	0	67,610	390																				
1,220	1,200	20	1,220	0																				
76,920	73,330	3,590	72,950	3,970																				
										29,820	32,743	Δ2,923	32,054	Δ2,234										
										19,930	20,765	Δ835	20,399	Δ469	157,980	163,596	Δ5,616	163,596	Δ5,616					
44,250	44,563	Δ313	43,786	464	86,960	95,514	Δ8,554	96,760	Δ9,800	1,400	1,365	35	1,409	Δ9										
2,190	2,609	Δ419	2,609	Δ419	690	691	Δ1	584	106	110	101	9	86	24	0	1	Δ1	1	Δ1	0	1	Δ1	1	1
					17,100	11,674	5,426	10,767	6,333											3,000	3,000	0	3,000	0
																				3,310	3,310	0	3,310	0
790	510	280	556	234																				
55,617	52,161	3,456	52,161	3,456						21,275	14,920	6,355	14,920	6,355	747	2,037	Δ1,290	2,037	Δ1,290	16,625	61,526	Δ44,901	61,526	Δ44,901
248,987	242,373	6,614	240,892	8,095	104,750	107,879	Δ3,129	108,111	Δ3,361	72,535	69,894	2,641	68,868	3,667	158,727	165,634	Δ6,907	165,634	Δ6,907	22,935	67,837	Δ44,902	67,837	Δ44,900
108,430	107,382	1,048	105,984	2,446	6,920	6,461	459	6,693	227	1,740	1,740	0	1,447	293	153,600	159,216	Δ5,616	159,216	Δ5,616					
28,450	30,305	Δ1,855	32,505	Δ4,055	92,670	96,467	Δ3,797	96,467	Δ3,797	8,290	8,286	4	8,290	0	4,730	5,420	Δ690	5,420	Δ690					
26,750	25,777	973	25,777	973	1,850	1,641	209	1,641	209	19,220	18,322	898	18,714	506	280	260	20	251	29	10	5	5	5	5
0	0	0	242	Δ242						400	900	Δ500	900	Δ500										
																				3,100	51,207	Δ48,107	51,207	Δ48,107
7,000	7,000	0	7,000	0						10,000	10,000	0	10,000	0										
17,100	11,674	5,426	10,767	6,333																				
0	0	0	0	0																				
3,000	3,000	0	3,000	0	3,310	3,310	0	3,310	0															
										8,190	8,226	Δ36	8,242	Δ52										
190,730	185,138	5,592	185,275	5,455	104,750	107,879	Δ3,129	108,111	Δ3,361	47,840	47,474	366	47,593	247	158,610	164,896	Δ6,286	164,887	Δ6,277	3,110	51,212	Δ48,102	51,212	Δ48,102
58,257	57,235	1,022	55,617	2,640	0	0	0	0	0	24,695	22,420	2,275	21,275	3,420	117	738	Δ621	747	Δ630	19,825	16,625	3,200	16,625	3,202
248,987	242,373	6,614	240,892	8,095	104,750	107,879	Δ3,129	108,111	Δ3,361	72,535	69,894	2,641	68,868	3,667	158,727	165,634	Δ6,907	165,634	Δ6,907	22,935	67,837	Δ44,902	67,837	Δ44,900

## 基金積立金

	R4年度	R5年度		R6年度見込			
	期末残高	積立金	取崩	期末残高	積立金	取崩	期末残高
会館施設整備基金	0	10,000	0	10,000	10,000	0	20,000
財政調整基金	0	7,000	0	7,000	7,000	0	14,000
合計	0	17,000	0	17,000	17,000	0	34,000

# 令和6年度 一般会計収支予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項				
1. 会費収入	68,000	68,000	0	
1. 会費収入	40,620	40,460	160	
2. 特別会費収入	27,380	27,540	△ 160	役員・議員
2. 特定商工業者負担金収入	1,220	1,200	20	
1. 負担金収入	1,220	1,200	20	
3. 事業収入	76,920	73,330	3,590	
1. 検定事業収入	13,440	10,343	3,097	珠算、簿記、販売士、福祉住環境 コーディネータ、カラーコーディネータ、 ビジネス実務法務、国際会計、PC、環境社会、ビジネス マネージャー他
2. 研修講習会収入	53,300	53,000	300	パソコン教室
3. 所報広告料収入	3,450	4,500	△ 1,050	
4. 手数料収入	1,220	1,675	△ 455	貿易証明、容器包装リサイクル
5. その他事業収入	5,510	3,812	1,698	珠算大会、イベント参加料他
4. 交付金収入	44,250	44,563	△ 313	
1. 補助金収入	33,090	34,483	△ 1,393	労働環境対策、地域活力増進、販路 開拓等
2. 事業受託料収入	9,120	8,040	1,080	経営支援、事業環境変化対応型支 援、諸課題解決
3. 事務受託料収入	2,040	2,040	0	雇用対策協議会、貿易協会、珠算 振興会、興親会、更生保護協会、 商市連
5. 雑収入	2,190	2,609	△ 419	
1. 受取預金利息	0	1	△ 1	
2. その他雑収入	2,190	2,608	△ 418	
6. 過年度収入	790	510	280	
1. 過年度会費収入	790	510	280	
7. 前期繰越金	55,617	52,161	3,456	
1. 前期繰越金	55,617	52,161	3,456	
合 計	248,987	242,373	6,614	

## 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項 目				
1. 事業費	108,430	107,382	1,048	
1. 事業費	99,560	94,492	5,068	
1. 検定事業費	8,790	7,539	1,251	珠算、簿記、販売士、福祉住環境コーディネータ、カラーコーディネータ、ビジネス実務法務、国際会計、PC、環境社会、ビジネスマネジャー
2. 研修講習会開催費	50,030	49,761	269	パソコン教室
3. 部会・委員会等活動費	1,600	2,300	△ 700	
4. 広報・宣伝費	8,660	8,700	△ 40	所報
5. 地域振興開発費	570	836	△ 266	市民祭り補助等
6. 日本酒振興支援事業費	3,960	3,190	770	ルネサンス
7. 地域活力増進事業費	2,350	1,350	1,000	兵商連補助事業
8. 国際交流事業費	100	100	0	
9. 青年部活動推進費	600	600	0	
10. 女性会活動推進費	280	530	△ 250	
11. 地域経済再生支援事業費	1,450	1,443	7	
12. 労働環境対策事業費	2,090	1,800	290	兵商連補助事業
13. 創業支援事業費	13,350	13,350	0	
14. 販路開拓機会創出事業費	1,000	2,000	△ 1,000	
15. ビジネス交流会事業費	4,360	600	3,760	兵商連補助事業
16. その他事業費	370	393	△ 23	貿易証明、珠算大会他
2. 受託補助事業費	8,870	12,890	△ 4,020	
1. 経営支援事業費	6,370	6,390	△ 20	
2. 諸課題解決事業費	500	500	0	専門家派遣
3. 事業環境変化対応型支援事業費	2,000	1,000	1,000	
4. 市デジタル化支援事業費	0	5,000	△ 5,000	
2. 管理費	55,200	56,082	△ 882	
1. 給与費	23,960	26,669	△ 2,709	
1. 本給	18,930	20,283	△ 1,353	
2. 諸手当	2,260	2,041	219	
3. 賞与	2,770	4,345	△ 1,575	
2. 福利厚生費	4,490	3,636	854	
1. 福利厚生費	4,490	3,636	854	社会保険料、労働保険料他

(単位：千円)

勘定科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項 目					
3.	旅費交通費	1,150	1,117	33	
1.	旅費交通費	1,150	1,117	33	
4.	事務費	13,230	12,740	490	
1.	通信運搬費	1,080	1,049	31	
2.	図書印刷費	1,270	953	317	
3.	消耗品費	980	1,300	△ 320	
4.	車両費	640	610	30	
5.	リース料	2,670	2,403	267	
6.	事務諸費	6,590	6,425	165	
5.	会議費	3,360	2,546	814	
1.	会議費	3,360	2,546	814	
6.	渉外費	660	1,084	△ 424	
1.	渉外費	660	1,084	△ 424	
7.	公課分担金	7,750	7,690	60	
1.	公課	4,600	7,126	△ 2,526	日商等上部団体会費、租税等
2.	分担金	3,150	564	2,586	加入団体会費等
8.	会議所強化費	600	600	0	
1.	会議所強化費	600	600	0	
3.	積立金	7,000	7,000	0	
1.	財政調整基金積立金へ繰出	7,000	7,000	0	
4.	繰出金	20,100	14,674	5,426	
1.	中小企業相談所特別会計	17,100	11,674	5,426	
2.	退職給与資金積立金特別会計	3,000	3,000	0	
5.	次期繰越金	58,257	57,235	1,022	
1.	次期繰越金	58,257	57,235	1,022	
合 計		248,987	242,373	6,614	

# 令和6年度 中小企業相談所特別会計収支予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項				
1. 交付金収入	86,960	95,514	△ 8,554	
1. 補助金収入（県）	86,960	95,514	△ 8,554	補助金内訳 人件費 77,274 事業費 9,686
2. 雑収入	690	691	△ 1	
1. 雑収入	690	691	△ 1	
3. 繰入金	17,100	11,674	5,426	
1. 一般会計	17,100	11,674	5,426	
合 計	104,750	107,879	△ 3,129	

## 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項 目				
1. 事業費	6,920	6,461	459	
1. 事業費	6,920	6,461	459	
1. 講習会開催費	1,190	1,800	△ 610	
2. 記帳継続指導費	1,880	1,879	1	
3. 金融指導事務費	860	254	606	
4. 施策普及費	900	890	10	
5. 資質向上対策事業費	350	176	174	
6. その他事業費	1,740	1,462	278	
2. 管理費	94,520	98,108	△ 3,588	
1. 給与費	78,640	82,560	△ 3,920	
1. 本給	46,850	48,245	△ 1,395	経営指導員10名 経営支援員3名
2. 諸手当	13,220	14,367	△ 1,147	旧国庫経営指導員1名 伴走型指導員1名
3. 賞与	18,570	19,948	△ 1,378	
2. 福利厚生費	14,030	13,907	123	
1. 福利厚生費	14,030	13,907	123	社会保険料、労働保険料他
3. 旅費交通費	450	250	200	
1. 旅費交通費	450	250	200	指導旅費、研修旅費
4. 事務費	1,400	1,391	9	
1. 通信運搬費	970	961	9	
2. 調査研究費	30	34	△ 4	
3. 駐車場費	400	396	4	
3. 繰出金	3,310	3,310	0	
1. 退職給与資金積立金特別 会計	3,310	3,310	0	
合 計	104,750	107,879	△ 3,129	

# 令和6年度 会館・共済事業特別会計収支予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項				
1. 会館事業収入	29,820	32,743	△ 2,923	
1. 使用料収入	20,820	24,951	△ 4,131	
2. 分担金収入	9,000	7,792	1,208	
2. 共済事業収入	19,930	20,765	△ 835	
1. 大型保険取扱手数料	1,000	966	34	
2. 個人年金取扱手数料	30	24	6	
3. 終身保険取扱手数料	40	35	5	
4. 終身医療保険取扱手数料	2,000	2,400	△ 400	
5. ガン保険取扱手数料	100	120	△ 20	
6. 生命共済保険取扱手数料	7,200	7,220	△ 20	
7. 休業所得補償保険取扱 手数料	3,250	3,120	130	
8. 労働保険取扱手数料	3,100	3,350	△ 250	
9. 公害関係取扱手数料	0	590	△ 590	
10. 火災・自動車共済取扱 手数料	220	160	60	
11. その他保険料手数料	1,390	1,180	210	
12. ユニット・リンク保険 取扱手数料	1,600	1,600	0	
3. 交付金収入	1,400	1,365	35	
1. 報奨金等収入	1,400	1,365	35	兵庫労働局
4. 雑収入	110	101	9	
1. 雑収入	110	101	9	
5. 前期繰越金	21,275	14,920	6,355	
1. 前期繰越金	21,275	14,920	6,355	
合 計	72,535	69,894	2,641	

## 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項 目				
1. 事業費	1,740	1,740	0	
1. 事業費	1,740	1,740	0	
1. 事業促進費	220	220	0	
2. 加入者還元事業費	720	720	0	
3. 給付金	800	800	0	
2. 管理費	27,510	26,608	902	
1. 給与費	7,870	7,863	7	
1. 本給	7,800	5,640	2,160	
2. 諸手当	70	63	7	
3. 賞与	0	2,160	△ 2,160	
2. 福利厚生費	420	423	△ 3	
1. 福利厚生費	420	423	△ 3	社会保険料、労働保険料他
3. 会館管理費	12,100	11,737	363	
1. 施設保守費	9,630	9,239	391	管理、清掃、警備他
2. 駐車場管理費	2,470	2,498	△ 28	
4. 事務費	7,120	6,585	535	
1. 通信運搬費	490	465	25	
2. 消耗品費	30	30	0	
3. 電力料	2,700	2,800	△ 100	
4. 燃料水道料	470	455	15	
5. 損害保険料	480	475	5	
6. 事務諸費	90	78	12	
7. 労働保険事務費	1,980	1,826	154	
8. 支払手数料	480	456	24	
9. 公課分担金	400	0	400	
3. 固定資産取得費	400	900	△ 500	
1. 固定資産取得費	400	900	△ 500	
4. 積立金	10,000	10,000	0	
1. 会館施設整備基金積立金 へ繰出	10,000	10,000	0	
5. その他支出	8,190	8,226	△ 36	
1. 借入金返済支出	7,000	7,000	0	
2. 支払利息	1,190	1,226	△ 36	
6. 次期繰越金	24,695	22,420	2,275	
1. 次期繰越金	24,695	22,420	2,275	
合 計	72,535	69,894	2,641	

# 令和6年度 特定退職金共済事業特別会計収支予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## 収入の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項 目				
1. 事業収入	157,980	163,596	△ 5,616	
1. 事業収入	157,980	163,596	△ 5,616	
1. 保険料収入	87,600	93,216	△ 5,616	
2. 事務費収入	4,380	4,380	0	
3. 給付金受入	66,000	66,000	0	
2. 雑収入	0	1	△ 1	
1. 雑収入	0	1	△ 1	
3. 前期繰越金	747	2,037	△ 1,290	
1. 前期繰越金	747	2,037	△ 1,290	
合 計	158,727	165,634	△ 6,907	

## 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項 目				
1. 事業費	153,600	159,216	△ 5,616	
1. 事業費	153,600	159,216	△ 5,616	
1. 支払保険料	87,600	93,216	△ 5,616	
2. 給付金	66,000	66,000	0	
2. 管理費	5,010	5,680	△ 670	
1. 給与費	4,000	4,623	△ 623	
1. 本給	2,330	3,000	△ 670	
2. 諸手当	410	526	△ 116	
3. 賞与	1,260	1,097	163	
2. 福利厚生費	730	797	△ 67	
1. 福利厚生費	730	797	△ 67	社会保険料、労働保険料他
3. 事務費	280	260	20	
1. 通信運搬費	70	70	0	
2. 支払手数料	210	190	20	
3. 次期繰越金	117	738	△ 621	
1. 次期繰越金	117	738	△ 621	
合 計	158,727	165,634	△ 6,907	

# 令和6年度 退職給与資金積立金特別会計収支予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## 収入の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項				
1. 繰入金	6,310	6,310	0	
1. 一般会計繰入金	3,000	3,000	0	
2. 中小企業相談所特別会計繰入金	3,310	3,310	0	
2. 雑収入	0	1	△ 1	
1. 受取預金利息	0	1	△ 1	
3. 前期繰越金	16,625	61,526	△ 44,901	
1. 前期繰越金	16,625	61,526	△ 44,901	
合 計	22,935	67,837	△ 44,902	

## 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減額	備 考
款 項				
1. 退職金	3,100	51,207	△ 48,107	
1. 退職金	3,100	51,207	△ 48,107	
2. 管理費	10	5	5	
1. 事務諸費	10	5	5	
3. 次期繰越金	19,825	16,625	3,200	
1. 次期繰越金	19,825	16,625	3,200	
合 計	22,935	67,837	△ 44,902	